

平成30年度 第71回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子決勝

主審 松本 究
第1副審 比嘉 涼太
第2副審 原田 拓朗

福岡第一 89

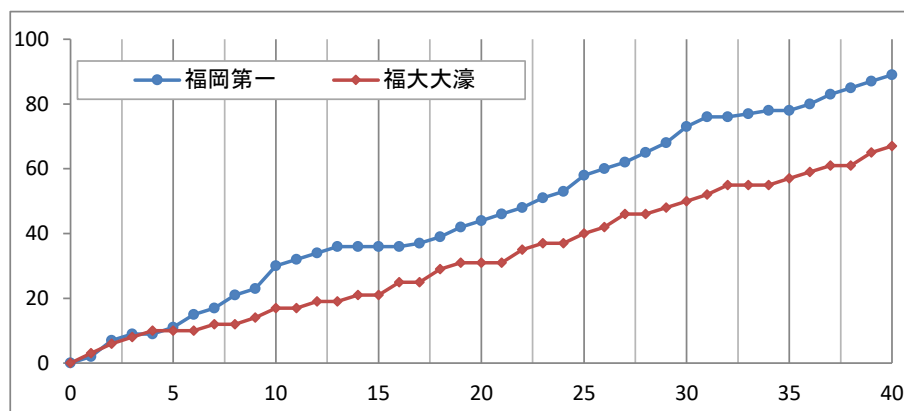
(福岡1位) ○

30	—	17
14	—	14
29	—	19
16	—	17
—		

67 福大大濠

● (福岡2位)

No. 17A4 日時: 2018年6月17日(日) 14:00 会場: 大村市体育文化センター



福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
1	當山 修梧	0	0	0	0	0
4	阿佐美風葉	0	0	0	0	3
8	* 河村 勇輝	18	2	5	2	2
10	* 古橋 正義	12	2	2	2	4
13	神田壮一郎	2	0	0	2	1
14	豊住 竣祐	0	0	0	0	0
20	山田 拓夢	2	0	1	0	0
24	* 松崎 裕樹 (C)	26	1	8	7	3
40	三宅翔理 ^テ イロ ^チ	0	0	0	0	0
46	* 小川 麻斗	5	1	0	2	2
60	* クベマジョセフ スティープ	23	0	10	3	4
65	キエト ^ト ビ ^ア リ	1	0	0	1	0
コーチ	井手口 孝					0
合計		89	6	26	19	19

福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	山本 草大 (C)	4	0	1	2	1
5	* 土屋 大輝	14	2	4	0	3
6	* 西田 公陽	5	1	1	0	4
7	岩橋 史門	0	0	0	0	0
8	* 木林 優	2	0	1	0	4
9	黒木 文	10	0	4	2	2
10	緒方 康大	0	0	0	0	1
11	高木 寛大	11	0	2	7	2
12	* 田邊 太一	15	0	5	5	1
13	平松 克樹	0	0	0	0	0
14	古見 成	0	0	0	0	0
15	* 間山 柊	6	0	3	0	5
コーチ	片峯 聡太					0
合計		67	3	21	16	23

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1Q、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々福岡第一#10のカットインが決まる。すぐさま福大大濠は#5、#6の3Pで対抗する。さらに福岡第一は#8、#24のジャンプシュート、福大大濠は#15のミドルシュートを中心に両チーム得点を重ねる。福岡第一は激しいディフェンスからスピードあふれる速攻を成功させ突き放しにかかる。福大大濠はハーフコートゾーンディフェンスに切り替えるも、福岡第一#8のドライブインから#60への鋭いパスが決まり得点を追加する。残り2分45秒19-12と福岡第一のリードが7点となったところで福大大濠タイムアウト。タイムアウト後も福岡第一は#60を中心に点差を広げるが、終了間際に福大大濠#12がバスケットカウントを決め、30-17で終了。

第2Q、福岡第一はハーフコートマンツーマン、福大大濠はハーフコートゾーンでスタート。福岡第一#24、#60、福大大濠#8、#12を中心に得点する。残り2分30秒、37-27福岡第一リードで福大大濠タイムアウト。福大大濠はディフェンスを変更しながら追い上げにかかるも、福岡第一#46の3P、#8のジャンプシュートが決まり44-31福岡第一リードで前半終了。

第3Q、福大大濠は#15のインサイドプレイで得点するも、福岡第一#24のドライブインが決まり、56-40とする。残り5分で福大大濠タイムアウト後、福大大濠#5の連続得点、#9とのピックアンドロールが決まるも、福岡第一の#10のドライブインと3P、#24のドライブインで突き放しに成功。終了間際に#60のダンクシュートが決まり、73-50で最終ピリオドへ。

第4Q、福大大濠#5がジャンプシュートを決め、追い上げにかかるが、福岡第一#24のドライブインが決まる。残り7分11秒福大大濠タイムアウト。残り5分福大大濠はオールコートプレスを仕掛け、速い攻撃を成功させる。それに対し、福岡第一は#24の3Pと鋭いドライブが立て続けに決まり、残り2分7秒で福大大濠タイムアウト。福大大濠は#9のミドルシュート、#11のフリースローが決まるもタイムアップ。89-67で福岡第一高校が優勝を飾った。

記事者	岩崎 孝治 (所属) 長崎県高体連バスケットボール専門部
-----	------------------------------